

# 桜カミ丘



## さわやかタイム！(5年生) ~What ○○ do you like?~

「What ○○ do you like?」「あなたの好きな○○は何ですか?」という問いかけに、「I like ~.」「私は、～が好きです。」と答えるやりとりを、外国語の授業で学習した5年生は、さわやかタイムで全校生にその学びの成果を発表しました。自分の好きな物を、全校生にも知ってもらうことができました。外国語・外国語活動では、相手のことを知りたい、自分のことを伝えたい、知ってもらいたいという気持ちが学習の基盤にあります。外国語の学習で大事にしたいのは、ただ単語やフレーズを覚えるというだけではなく、相手に伝えたいという思いから生まれる「この言葉を英語でなんて言えばいいのだろう。」という問いや、そこから学びが広がっていくことです。そして、英語で言えたという喜びや自信が次の学びへの意欲となるでしょうし、自分が使った英語が、英語を話す人に伝わることで、さらにその気持ちは大きくなると思います。



一人ずつ自分の好きな物についての発表をした後、「ABC DANCE」を踊りました。5年生が全校生に、一緒に踊ろうと声を掛けてくれて、楽しくダンスを踊りました。今年度は、朝の活動時に英語活動を取り入れ、英語に慣れ親しむことに頑張っています。英語でコミュニケーションをする活動を通して表現力が高まることを期待しています。

## ほんのもり号体験(3年生) ~詫間の海を航海しました~

3年生が「ほんのもり号体験」を行いました。社会や総合的な学習で学習している詫間町のことを知る活動の一つとして、いい機会を得ることができました。「こども図書館船 ほんのもり号」は、昨年4月から香川の瀬戸内海で航海しています。世界的な建築家である安藤忠雄氏からの「本は子どもたちの豊かな感受性や創造性を育むとともに、子どもの頃に瀬戸内で思い出をつくれれば大きくなってから郷土愛となるはず。香川や瀬戸内海でしかできないことをやろう。」という呼び掛けから「ほんのもり号」ができたそうです。船から見る詫間町は、そこにいたのでは決して見ることでできない景色です。子どもたちは、自分たちの住んでいる町が海に面しているのだということや、その海にはたくさんの島があるんだということなど、たくさんのことに気付けたと思います。また、船の中で本をいろいろ手に取って読んでみたり、塗り絵をしたりする活動も、満足いくまでできたのではないかと思います。

